

WEST UNION
WEST UNION
第396号
2022年9月7日

J R よなご
西労組 west japan railway trade union - YONAGO

西日本旅客鉄道労働組合
米子地方本部
発行責任者 大川 達也
編集責任者 高真 靖幸

第32回米子地方本部定期大会開催！



米子地方本部は8月26日(金) 米子市文化ホールにおいて第32回定期大会を開催し、新年度の運動方針を満場一致で確認し合った。今大会は、新型コロナウイルス感染症防止のため昨年に引き続き、大会規模の縮小・時間短縮を図った上での開催となった。

大会に先立ち、今大会で特別執行委員を退任される元連合鳥取の佐貫副事務局長から挨拶を頂き、会場全体の拍手で今日までの労をねぎらった。

大会の来賓として、両県連合の会長をはじめ、湯原俊二衆議院議員、組織内議員の福岡裕隆議員、中田利幸市議など9名の方々にご臨席を賜った。中央本部からは羽野書記長、川原業務部長、田中文化・レク・法対部長、業務部次長、沖島青年女性委員長に、鳥取支部より中村代議員、石見支部より鶴原代議員が選出され、見事、大会を成功裏に導いていただいた。

1、安全確立の取組みについて
多くの自然災害が発生し、被災確認や復旧作業のため現場組合員が現地へ向かう中、何よりも大事なものは「命の優先」と「現場判断」であります。「作業を止める」ことが現場の判断で出来る風土となっているか、私たちは警鐘を鳴らし、その環境を構築していくなければならぬ。

「働く者の安全の確保ができれば、鉄道の安全運行は成し得ない」との認識の下、労使協議を行ってまいります。現場においても「安全お守り手帳」を活用した安全意識の向上に努めていただくことを要請します。

2、組織の充実・強化の取組み
今年度の新規採用者の100%加入と他労組から1名の組織拡大を果たしましたが、10月にも中国統括本部の組織改正が予定されているので、当該支部・分会と世話役活動が行いやすい組織体制の構築に向けて連携を図ってまいります。

日常の世話役活動にこそ労働組合としての意味があります。職場内での課題を分会で共有すると共に、現場で解決できないことは上部機関に上げて頂き、組織全体で課題解決に向けた取組みに繋げていくことが必要です。

3、地域活性化に向けた取組みについて
コロナ禍によるご利用の減少は、経営面での打撃が大きかった一方で、社会インフラとしての交通産業の在り方について、国策としての対応が必要不可欠であるという世論形成も構築されたと認識している。そして、その世論形成を構築するにあたっては、JR連合の働きかけと私たちが推薦した議員の皆様が議会の場等を通じて力強く確信しております。

4、政治課題について
第49回衆議院議員選挙、米子市議会議員選挙、第26回参議院議員選挙において、組合員をはじめ家族の皆様のご協力に改めて感謝を申し上げます。私たちの喫緊の課題は組織内議員の発掘です。地方議会の傍聴や推薦議員との交流を図る機会を設け、志ある代弁者の発掘に努めていくこととします。

働く者、生活者の目線に立った政治を実現するため、連合との連携強化を図りながら、政治方針に則り、推薦する候補者の必勝に向け、総力を挙げて取り組んでいきますので、全ての組合員の理解と協力を要請します。

高めるとともに、引き続き、連合や交通労協を通じた政策提言に努め、組織内議員や推薦議員のみならずと連携を図りながら、取組みを進めていきます。

